

## 入札公告

次のとおり、一般競争入札（総合評価落札方式）に付します。

平成29年1月20日  
独立行政法人農林漁業信用基金

### 1 入札に付する事項

- (1) 業務の名称：林業信用保証業務における「基幹系システム」の保守業務
- (2) 業務内容等：別紙「入札説明書」による。
- (3) 納入期限：別紙「入札説明書」による。
- (4) 納入場所：別紙「入札説明書」による。
- (5) 入札方法：別紙「入札説明書」による。

### 2 参加資格

- (1) 下記ア、イ、ウに該当しない者であること。
  - ア 当該契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者。
  - イ 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てがなされている者。
  - ウ 反社会的勢力（暴力、威力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する集団及び個人をいう）又はその関係者と認められる者。
- (2) 次の各号の一に該当すると認められる者を、その事実があった後2年間一般競争に参加させない。また、これらの者を代理人、支配人その他の使用人として使用する者についても、また同様とする。
  - ア 契約の履行に当たり故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物品の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者。
  - イ 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者。
  - ウ 落札者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者。
  - エ 監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げた者。
  - オ 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者。
  - カ 経営状態が著しく不健全であると認められる者。
  - キ 一般競争参加資格審査申請書及び添付書類の重要な事項又は事実についての虚偽の記載をし、又は記載をしなかった者。
  - ク 商法、その他の法令の規定に違反して営業を行なった者。

3 必要とする要件

株式会社金融エンジニアリング・グループが開発した「基幹系システム」の設計・性能・機能・仕様・データベース等を十分理解していること、又は、本業務に着手するまでに自己の負担においてこれらの知識を習得することができること。

(ただし、応募する者が、「基幹系システム」のシステム設計書、その他同システムの仕様に係る書類等の閲覧を希望する場合、必要に応じ、信用基金より提示するものとする。)

4 入札説明書等の交付場所、契約条項を示す場所及び問い合わせ先

〒101-8506

東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11階

独立行政法人農林漁業信用基金 林業管理室 業務推進課

電話：03-3294-5583

FAX：03-3294-5595

5 入札説明書等の交付期間

平成29年1月20日(金)～平成29年2月3日(金) 17時00分

土日祝祭日を除く、平日10時から17時まで(12時から13時を除く)交付場所において交付する。なお、当信用基金ホームページの契約関連情報にて入札公告、入札説明書など入札に関わる事項を公表している。

(<http://www.jaffic.go.jp/procurement/index.html>)

6 一般競争参加資格審査申請書の提出期限

平成29年2月3日(金) 17時00分

持参により提出すること。郵送及び電送(ファックス、電子メール等)による提出は認めない。

7 入札に関する質問の受付期限

平成29年2月9日(木) 17時00分

入札説明書等に関する質問がある場合は、質問書(様式の指定なし)により、原則として電子メールにて照会すること。

8 入札の日時及び場所(入札書等の提出期限)

平成29年2月15日(水) 17時00分

東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11階

独立行政法人農林漁業信用基金 第5会議室

入札書等を持参により提出すること。郵送及び電送（ファックス、電子メール等）による提出は認めない。

## 9 開札の日時及び場所

平成29年2月22日（水） 11時00分

東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11階

独立行政法人農林漁業信用基金 第3会議室

## 10 その他

- (1) 入札、提案及び契約手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 入札保証金及び契約保証金は、免除する。
- (3) 入札者に求められる義務は、別紙「入札説明書」による。
- (4) 入札の無効については、別紙「入札説明書」による。
- (5) 契約書作成の要否：要
- (6) 落札者の決定方法

当信用基金が入札説明書で指定する要求要件のうち、必須とした項目の最低限の要求要件をすべて満たし、当該入札者の入札価格が予定価格の制限範囲内であり、かつ、当該入札者の技術等の各評価項目の合計得点に入札価格の得点を加えた総合評価得点が最も高い者で有効な入札を行った者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約することが公正な取引の秩序を乱すことになるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、評価の最も高い者を落札者とするところがある。

### 1.1 詳細は別紙「入札説明書」による。

### 1.2 独立行政法人が行う契約に係る情報の公表について

独立行政法人が行う契約については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」（平成22年12月7日閣議決定）において、独立行政法人と一定の関係を有する法人と契約をする場合には、当該法人への再就職の状況、当該法人との間の取引等の状況について情報を公開するなどの取組を進めるとされているところである。

これに基づき、以下のとおり、当信用基金との関係に係る情報を当信用基金のホームページで公表することとしますので、所要の情報の当方への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。

なお、案件への応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了解願います。応札若しくは応募又は契約の締結を行ったにもかかわらず情報提供等の協力をしていただけない相手方については、その名称等を公表させていただくことがあり得ますので、ご了解願います。

(1) 公表の対象となる契約先

次のいずれにも該当する契約先

ア 当信用基金において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等として再就職していること

イ 当信用基金との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること

※ 予定価格が一定の金額を超えない契約や光熱水費の支出に係る契約等は対象外

(2) 公表する情報

上記に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表します。

ア 当信用基金の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当信用基金OB）の人数、職名及び当信用基金における最終職名

イ 当信用基金との間の取引高

ウ 総売上高又は事業収入に占める当信用基金との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨

3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上

エ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当方に提供していただく情報

ア 契約締結日時時点で在職している当信用基金OBに係る情報（人数、現在の職名及び当信用基金における最終職名等）

イ 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当信用基金との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

以上公告する。